

サンアグリしわひめ (栗原市)



栗原市でトマト栽培を行っている「サンアグリしわひめ」では、燃料費の軽減と二酸化炭素の排出削減を目的に、地下水熱利用ヒートポンプを導入しています。栗原市は、日射量が少なく冬の外気温は-5℃を下回ることもあります。冬季における暖房はA重油ボイラーに頼っていたため、近年の燃油高騰により年間の燃料費が大きな経営負担となっていました。



ハウス内、中央にあるのがヒートポンプ機器

そこで、1年通して16℃前後を保つ地下水熱を利用し、外気の温度に左右されずに効率的な運転ができる地下水熱ヒートポンプシステムの導入を決めました。

地下水熱ヒートポンプシステムの導入により、年間ランニングコストは約3割削減されたほか、燃焼を伴わないためCO₂の排出がなくクリーンな農業を実現しています。

室外機がいないため除霜運転の必要がなく、寒冷地でも安定した空調運転ができることがメリットです。また、温度、日射量、炭酸ガス濃度等の環境をコンピューターで制御することで、安定した高品質のトマトづくりを行うことができます。



地下水をくみ上げるポンプ室
取水井と還元井は、
Φ150 100m×6本



温度、日射量を制御する中央操作盤

Keyman's
VOICE

有限会社 サンアグリしわひめ
代表取締役 三浦 和栄 さん

果肉が厚く、酸味が少ない『桃太郎』という品種を中心に栽培しています。

省エネな設備を導入して生産コストを抑えた分、量よりおいしさを追求して生産をしています。「サンひめっこ」は食べやすく子供たちにも人気です！



所在地	栗原市志波姫要害東 177
アクセス	東北自動車道若柳金成 IC から車で 30 分
エネ種・規模	地下水熱利用 ヒートポンプ 40 台 (暖房 30.4kW 冷房 25.0kW)
活用した補助事業	平成 25 年度 燃油価格高騰緊急対策事業 (農林水産省)
運営主体	有限会社サンアグリしわひめ
連絡先	TEL: 0225-67-2046

名取田の上宮農型太陽光発電所 (名取市)



畑や田んぼで農作物を育てながら、作物の収穫量を下げずに太陽光発電をする、それがソーラーシェアリング(営農型太陽光発電)です。作物に一定以上光が当たってもそれ以上光合成しないため、その植物が使わない光をソーラーシェアリングで活用します。

農業と再生可能エネルギーという意外な組み合わせに興味を持った株式会社若生技建の社長は、自身が所有する田んぼで100kWの太陽光発電を行っています。

所在地	名取市下増田字鶴巻前 44
運営主体	株式会社 若生技建
エネ種・規模	太陽光発電 100kW
連絡先	TEL: 022-384-1758